



# Reveal® 3-D for Mustard

## キット製品

### キットID

製品名 : Reveal® 3-D for Mustard  
製品コード : 8405  
Part Number(s) : 700002562|8405

### キット安全情報シートの供給者の詳細

#### Manufacturer

Neogen Corporation  
48912  
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place  
T 800.234.5333  
[sds@neogen.com](mailto:sds@neogen.com) - <https://www.neogen.com/>

#### Importer

Neogen Japan K.K.  
220-0012  
Kanagawa Nishi-ku Yokohama City 3-3-3, Minatomirai 12F Yokohama  
Connect Square  
T 045-211-4615

### 一般事項

使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。  
概要 : このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート（SDS）が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。

### キット内容

名前	GHS分類
Rapid Extraction Buffer, Type 7	急性毒性(経口) 区分外 水生環境有害性 短期（急性） 区分外 水生環境有害性 長期（慢性） 区分外

### 輸送上の注意

#### 国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない

# Reveal® 3-D for Mustard

## キット 安全情報シート (SIS)

国連勧告 (UN RTDG)	
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし



# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/20 改訂日: 2026/05/26 バージョン: 2.0

---



# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/20 改訂日: 2026/05/26 バージョン: 2.0

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Rapid Extraction Buffer, Type 7  
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]  
製品コード : NE2208  
Part Number(s) : NE2207|400000940|NE2208|400000941

#### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤  
使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

#### 会社情報

##### 製造業者

Neogen Corporation  
48912  
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place  
T 800.234.5333  
[sds@neogen.com](mailto:sds@neogen.com) - <https://www.neogen.com/>

##### 輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社  
220-0012  
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア  
12階  
T 045-211-4615

#### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:  
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)  
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない

※上記に記載のないものは区分に該当しない (分類対象外) または分類できない。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Polyoxyethylenesorbitan monolaurate	≥ 1 - < 5	-	-	9005-64-5
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA)	≥ 0.1 - < 0.5	(2)-1263	既存化学物質	60-00-4

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 4. 応急措置

#### 応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護 : 応急措置を行う者は、自身の保護に注意を払い、推奨される個人用保護具を使用すること（第8項を参照）。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 通常の条件下では特に無し。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の条件下では特に無し。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の条件下では特に無し。

#### 医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。  
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。  
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。  
物的損傷を防止するためにも流出したものを回収すること。

#### 非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。

#### 緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。  
安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。  
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。  
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

### 保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

保管温度 : 2 - 8 °C

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 透明色、無色

臭い : 無臭

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (Vol-%)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

#### Rapid Extraction Buffer, Type 7

未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の99.2%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.2%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
------------------	--

#### Polyoxyethylenesorbitan monolaurate (9005-64-5)

LD50 経口 ラット	36700 mg/kg Source: ChemIDPlus
LC50 吸入 - ラット	> 5.1 mg/l air Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 403 (Acute Inhalation Toxicity), Guideline: EU Method B.2 (Acute Toxicity (Inhalation)), Guideline: EPA OPPTS 870.1300 (Acute inhalation toxicity)

#### Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

急性毒性 (経口)	ラットのLD50値は >2000 mg/kg (EU-RAR 49 (2004) )、2580、4500 mg/kg (以上、NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007) ) に基づき、JIS分類基準の区分外 (国連分類基準の区分5) とした。
急性毒性 (経皮)	データなし。
急性毒性 (吸入:気体)	GHSの定義における固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足で分類できない。なお、20及び80°Cにおける微粉末飽和状態で8時間吸入で死亡例なし (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007)) との報告がある。
LD50 経口 ラット	4500 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 401, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))
LD50 経口	2580 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギのドレイズ試験で刺激性なしとの報告 (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007))、および別の試験ではウサギ1匹を用い、耳介に20時間適用し24時間後の観察で軽度の刺激性 (mild irritating) との報告 (EU-RAR 49 (2004)) に基づき、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	ウサギの眼に50 mgを適用した試験で、強い刺激、軽度の浮腫、強い角膜混濁が見られたが、8日後に症状は消失したとの記述 (EU-RAR 49 (2004)) に基づき、区分2Bとした。

呼吸器感受性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
呼吸器感受性	データなし。

皮膚感受性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
皮膚感受性	データなし。なお、本物質の二ナトリウム塩について、モルモットのマキシマイゼーション試験 (OECD TG406) において、24時間後の一回目の惹起で30% (3/10)、7日後の二回目の惹起で10% (1/10) の陽性率を示し (EU-RAR 49 (2004))、別のモルモットのマキシマイゼーション試験では感受性なしと報告されている (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007))。

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
生殖細胞変異原性	本物質の二ナトリウム塩を用いたin vivo 試験として、マウス飲水投与による優性致死試験 (生殖細胞 in vivo 経世代変異原性試験)、マウス腹腔内投与による精原細胞を用いた染色体異常試験 (生殖細胞 in vivo 変異原性試験)、マウス経口投与および腹腔内投与による骨髄を用いた小核試験 (体細胞 in vivo 変異原性試験) で、いずれも陰性結果が得られている (全て、EU-RAR 49 (2004)) ことに基づき区分外とした。また、in vitro 試験では、本物質を用いたエームス試験で陰性、マウスリンフォーマ試験で陽性、本物質の三ナトリウム塩を用いたエームス試験とマウスリンフォーマ試験で陰性の結果がある (EU-RAR 49 (2004)、安衛法 変異原性データ集 補遺2版 (2000))。なお、本物質によるマウスの骨髄細胞および脾臓細胞を用いた染色体異常試験 (体細胞in vivo 変異原性試験) で陽性 (NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14 (2007)) の報告があるが、この試験については投与経路や用量等の試験の詳細が不明または結果の再現性に疑問があるとの専門家の判断により分類の根拠としなかった。

発がん性 : 分類できない

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
発がん性	データなし。なお、本物質の三ナトリウム塩を用いたラット及びマウスによる103週間混餌投与試験でラット、マウスのいずれも投与と関連する腫瘍の発生はなかったが、最大耐量までの用量の試験ではなかったとの記述（EU-RAR 49（2004））がある。

生殖毒性 : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
生殖毒性	ラットの妊娠7-14日に強制経口投与により親動物で死亡、下痢、行動抑制等の影響がみられた用量で、仔に対しては影響なかった（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））との報告の一方、親動物の一般毒性について記載はないが、ラットの妊娠6日以降に混餌投与した試験で、仔に口蓋裂、脳と眼の欠損、および骨格異常が生じた（Teratogenic（12th, 2007））と報告され、さらに妊娠ラットに腹腔内または筋肉内投与した場合にも仔に奇形の発生が報告されている（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007）、JECFA 796（1993））ことから、区分2とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。なお、関連物質のヒトへの影響として、鉛中毒解毒剤としてEDTA二ナトリウム塩（Na <sub>2</sub> EDTA）を静脈内投与した場合の急性的症状としては手と口の周辺に現れる、しびれとヒリヒリ感が報告されている（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトに対する影響として、EDTA及びその塩（ナトリウム、カルシウム二ナトリウム）を長期にわたり多量経口摂取した場合、腎臓尿細管障害がみられるとの記述（NITE初期リスク評価書 Ver.1.1, 14（2007））から、区分1（腎臓）とした。なお、関連物質のCaNa <sub>2</sub> EDTA製剤は鉛中毒の解毒剤として市販され、副作用情報において錠剤では長期投与により尿細管障害、点滴注射剤では一過性蛋白尿、長期投与により尿細管障害の記載があり、その他の注意事項として、急速、大量投与の結果、腎毒性により死亡等の重大な結果を招くことがあるとされている（環境省リスク評価 第3巻（2004））。
LOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90日)	0.015 mg/l air Animal: rat, Animal sex: female, Guideline: OECD Guideline 413 (Subchronic Inhalation Toxicity: 90-Day Study)
NOAEL (経口、ラット、90日)	≥ 500 mg/kg BW Animal: rat
NOAEL (亜慢性、経口、動物/オス、90日)	≥ 500 mg/kg BW Animal: , Animal sex: male

誤えん有害性 : 分類できない

Polyoxyethylenesorbitan monolaurate (9005-64-5)	
動粘性率	363.636 mm <sup>2</sup> /s
Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
誤えん有害性	データなし。

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

### 12. 環境影響情報

#### 生態毒性

- 生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
- 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

#### Polyoxyethylenesorbitan monolaurate (9005-64-5)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -2.03 Source: EPISUITE

#### Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)

水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (ブルーギル) の96時間LC50 = 41 mg/L (EU-RAR, 2005他) から、区分3とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がないが (4週間でのBODによる分解度 : 0% (既存点検, 1994) )、甲殻類 (オオミジンコ) の21日間NOEC = 5.5 mg/L (環境省生態影響試験, 2002他) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく (4週間でのBODによる分解度 : 0% (既存点検, 1994) )、魚類 (ブルーギル) の96時間LC50 = 41 mg/L (EU-RAR, 2005他) であることから、区分3となる。以上の結果を比較し、区分3とした。
LC50 - 魚 [1]	159 mg/l (US EPA, 96 h, Lepomis macrochirus, Static system, Fresh water, Experimental value, Nominal concentration)
EC50 - 甲殻類 [1]	140 mg/l (DIN 38412-11, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Read-across, Locomotor effect)
EC50 72h - 藻類 [1]	> 60 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
ErC50 藻類	> 100 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Weight of evidence, GLP)
LOEC (慢性)	50 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC 魚 慢性	≥ 25.7 mg/l Test organisms (species): Duration: '35 d'
NOEC 甲殻類 慢性	5.5 mg/l
BCF - 魚 [1]	1.1 – 1.8 (28 day(s), Lepomis macrochirus, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.13 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.495 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

#### 残留性・分解性

#### Rapid Extraction Buffer, Type 7

残留性・分解性 急速分解性でない

#### Polyoxyethylenesorbitan monolaurate (9005-64-5)

残留性・分解性 Readily biodegradable in water.

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in water.
生化学的酸素要求量(BOD)	0.01 g O <sub>2</sub> /g substance
化学的酸素要求量(COD)	0.85 g O <sub>2</sub> /g substance
ThOD	1.09 g O <sub>2</sub> /g substance
BOD (ThODの割合)	0.0091

### 生体蓄積性

Rapid Extraction Buffer, Type 7	
生体蓄積性	データなし

Polyoxyethylenesorbitan monolaurate (9005-64-5)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available.
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.03 Source: EPISUITE

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
生体蓄積性	Low potential for bioaccumulation (BCF < 500).
BCF - 魚 [1]	1.1 – 1.8 (28 day(s), Lepomis macrochirus, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Fresh weight)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.13 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.495 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)

### 土壌中の移動性

Rapid Extraction Buffer, Type 7	
土壌中の移動性	データなし

Polyoxyethylenesorbitan monolaurate (9005-64-5)	
土壌中の移動性	239700000 Source: EPISUITE
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-2.03 Source: EPISUITE

Ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) (60-00-4)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.13 (Weight of evidence approach)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	2.495 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, Calculated value)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil.

### オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。  
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

残余廃棄物	: 本製品の廃棄物は、製品自体と同様に有害であり、環境への影響も同様に考慮する必要がある。 廃棄物の管理および処理は、製品本体で定められた方法に従うこと。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

### MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

## 15. 適用法令

### 国内法令

化審法	: 優先評価化学物質（法第2条第5項）
労働安全衛生法	: 危険物・爆発性の物（施行令別表第1第1号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） エチレンジアミン四酢酸（別表の番号：274） 【改正後 令和9年4月1日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2） エチレンジアミン四酢酸（別表の番号：274）
消防法	: 第5類自己反応性物質、金属のアジ化物（法第2条第7項危険物別表第1・第5類10・危険物政令第1条第3項）

# 安全データシート

## Rapid Extraction Buffer, Type 7

JIS Z 7253 : 2019に準拠

大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申）
海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

### 16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。